

プレスリリース

Khronos™ Group、GDCにて主要APIの最新情報と新ワーキング・グループ発足を発表 Vulkan®並びに WebGL™ 2.0の発表、新 OpenXR™ワーキング・グループの活動開始、デベロッパ向け各種 イベントを開催

業界を代表するハードウェア/ソフトウェア企業から構成される、オープン・コンソーシアムの**クロノス・グループ**は(以下、クロノス)は、ゲーム・デベロッパーズ・カンファレンス(GDC)において、主要APIの最新情報ならびに、新ワーキング・グループの発足を発表しました。クロノスはGDC会期中、さまざまなイベントの主催及び参加を通じて、あらゆるデベロッパの皆さまに最新ハードウェア機能を活用できる、クロス・プラットフォーム型APIの仕様策定とその普及活動に注力する予定です。

業界で幅広く使用されるオープンな規格の連携を目的とした、コミュニティ育成を支援し続けるクロノスは、今週開催されるGDCにて以下の最新API動向を発表します。

- 採用が進む Vulkan®向け新機能を発表: 多くの支持を集め、公開から1周年を迎えた Vulkan® APIは、高精度ゲームで大きな実績を築き、その影響力は増すばかりです。Vulkan®は、業界有数のゲーム・エンジンである Unity や Unreal 等で採用され、数多くのゲーム・スタジオが Vulkan®仕様のゲーム・タイトルの開発を進めており、Doom や Quake、The Talos Principle、Dota 2をはじめ、多くの Vulkan®対応ゲームが出荷されています。Vulkan®仕様のドライバ各種も、主要GPUメーカー各社から公開されています。クロノスは本日、仮想現実(VR)およびマルチGPU機能にクロス・プラットフォームでアクセスできる Vulkan®の拡張仕様を発表しました。アップデートおよび拡張仕様の詳細は、<https://www.khronos.org/blog/vulkan-releases-new-features> をご覧ください。
- OpenXR™の発表: 2016年12月に設立が発表されたクロノスのバーチャル・リアリティ・イニシアチブ(Khronos Virtual Reality Initiative)により、仮想現実(VR)や拡張現実(AR)のポータブル・アプリ/端末向けのオープン仕様の策定が進められています。クロノスは本日、その標準規格の正式名称を「OpenXR™」としたことを発表しました。このイニシアチブ・グループは、VR市場でのAPI分断化回避に向けて活躍する大手企業各社から構成されています。OpenXR™に関心をお持ちの企業はぜひクロノスに参画いただき、VR業界の方向性を定める一翼を担っていただきたいと思います。詳細は、<https://www.khronos.org/blog/the-openxr-working-group-is-here> をご覧ください。
- 新3Dポータビリティ調査グループ(3D Portability Exploratory Group)参画への呼びかけ: クロノスは本日、この新グループへの参加募集を発表しました。このグループは、デベロッパの方々が Vulkan®, DX12, Metalベースの各システム上で効率的実行が可能なレンダリング・コードが書ける、ネイティブAPIの仕様ご策定を目的としています。このAPIもまた、JavaScriptやWebAssembly言語との併用をポータブル向けAPI上で可能にする、次世代WebGL™の堅固な基盤となるはずで、関心をお持ちの企業はぜひクロノスに参画いただき、

この取り組みに意見や投票という形でご参加ください。詳細は [khronos.org/3dportability](https://www.khronos.org/3dportability) でご紹介しています。

- WebGL™ 2.0 仕様の発表: WebGL™ 2.0 はすでに Google および Mozilla でサポートされていますが、このほどその仕様の最終版が完了し、3D の Web アプリケーションやエンジンの開発にお使いいただけるようになりました。WebGL™ 2.0 は、OpenGL ES 3.0 を前面に打ち出し、あらゆるデベロッパの方々が Web 開発においてデスクトップ向け OpenGL 機能を活用できるようにします。さらに、クロノスでは Web 上で明示的に 3D をコントロールできる新世代 API の提供を目指し、次世代 WebGL™ への取り組みを開始しています。WebGL™ 2.0 に関する詳細は、<https://www.khronos.org/blog/webgl-2.0-arrives> をご覧ください。
- glTF™ 2.0 のフィードバック最終募集: クロノスは、glTF™ 1.0 を大幅に改善した glTF™ 2.0 のデベロッパ・プレビュー用バージョンを公開しました。glTF™ 2.0 での強化点の一例として、ポータブルで高品質な素材の物理ベースレンダリング (PBR) が導入されます。これにより、配下にある 3D 用 API と glTF が独立で構成できます。クロノスでは、ここ数週間で予定している glTF™ 2.0 の最終仕様策定に取り入れるべく、業界からのご意見やフィードバックを GitHub 経由で募集しています。また、クロノスは本日、glTF™ 2.0 からのエクスポート機能を、オープンソースの 3D オーサリングツール「Blender」に持たせるための外部資金プロジェクトについて、見積依頼を提出しました。フィードバック情報の共有方法などについては、<https://www.khronos.org/blog/call-for-feedback-on-gltf-2.0> でご紹介しています。

API の最新情報以外に、GDC 会期中に開催されるデベロッパ・カンファレンスや展示ブースにおいて、会員との意見交換会等、講演や交流イベントも主催します。以下に、GDC でのクロノスの講演およびイベント概要をご紹介します。各イベントの詳細スケジュールは、<https://www.khronos.org/news/events/gdc-2017> をご覧ください。

- クロノス GDC 展示ブース (ブース番号は、South Hall (南館) の 2419): クロノス会員企業による API に関するプレゼンテーション (各 1 時間セッション) を行ないます。会員や専門家との意見交換が可能であり、ぜひブースにお立ち寄りください。
- VRDC 2017 での OpenXR™ の解説と意見交換: 2 月 27 日 (月曜日) と 28 日 (火曜日) の午前 10 時から午後 6 時まで、North Hall (北館) 会場番号 135 のクロノス展示テーブル TT06 にお越しください。新発表の OpenXR™ に取り組む専門家との意見交換や、このほど発表された取り組みに対するデベロッパの方々からのフィードバックご紹介の機会を設けています。
- 3D グラフィックス・デベロッパ・デイ (3D Graphics Developer Day) にて、Vulkan®、OpenXR™、WebGL™、その他さまざまなテーマで講演: 2 月 28 日 (火曜日) の午前 10 時から午後 6 時まで、West Hall (西館) 会場番号 3022 にて、デベロッパ向けの各枠 1 時間の講演を行います。
- クロノス・ミートアップ (Khronos Meetup) 開催: 3 月 2 日 (木曜日) の午後 6 時 30 分から午後 9 時 30 分まで、サンフランシスコの「Galvanize San Francisco」にて、クロノス会員やデベロッパの方々を交えた WebGL、WebVR、glTF、モバイル 3D の意見交換会と交流会を実施しますので、ぜひご参加ください。
- GDC 公式プログラムにおけるクロノス標準仕様関連の講演: クロノス会員やデベロッパが「Vulkan Lessons Learned to the Future of VR (VR の未来に向けた Vulkan 活用体験)」と題し、さまざまなテーマで講演します。

Khronos Group (クロノス・グループ) について

The Khronos Group は、さまざまなプラットフォームやデバイス上で並列コンピューティング、グラフィックス、ビジョン、センサー・プロセッシング、ダイナミック・メディアのオーサリング及び高速化を可能とする、オープンな業界標準の仕様策定を行うコンソーシアムです。クロノスが仕様策定する業界標準には Vulkan®、OpenGL®, OpenGL® ES、

OpenGL[®] SC、WebGL[™]、SPIR-V[™]、OpenCL[™]、SYCL[™]、OpenVX[™]、NNEF[™]、COLLADA[™]、OpenXR[™]、glTF[™]などがあります。クロノスの会員は各仕様の策定作業に参画し、一般公開前のさまざまな過程で仕様策定に関する投票を行うことができるほか、仕様のドラフトへのアーリーアクセスならびにパフォーマンス・テストを通して、自身のプラットフォームやアプリケーション開発の期間短縮や機能強化に役立てることができます。詳細情報は Web サイトで公開されています (www.khronos.org)。

###

Vulkan is a registered trademark of The Khronos Group. Khronos, OpenXR, DevU, SPIR, SPIR-V, SYCL, WebGL, WebCL, COLLADA, OpenKODE, OpenVG, OpenVX, EGL, glTF, OpenKCAM, StreamInput, OpenWF, OpenGL ES, NNEF and OpenMAX are trademarks of the Khronos Group Inc. OpenCL is a trademark of Apple Inc. and OpenGL is a registered trademark and the OpenGL ES and OpenGL SC logos are trademarks of Silicon Graphics International used under license by Khronos. All other product names, trademarks, and/or company names are used solely for identification and belong to their respective owners.

メディアの方のお問い合わせ先

ミアキス・アソシエイツ 河西(かさい)

kasai@miacis.com

記事掲載時のご掲載

クロノス・グループ

www.khronos.org <http://jp.khronos.org>